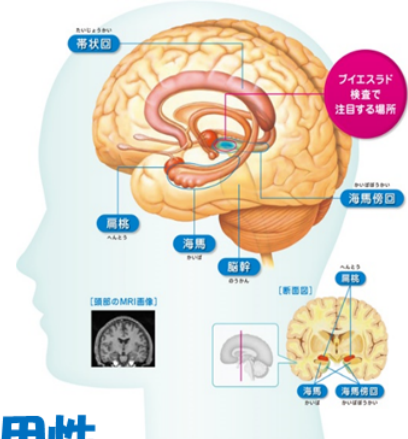


# 頭部MRI検査とVSRAD

当院では早期アルツハイマー診断支援システムVSRADの検査を行っています。「VSRAD解析ソフト」を使用し、早期アルツハイマーが認知症に特徴的に見られる「海馬傍回の委縮の程度」を解析評価します。

## アルツハイマー型認知症って？

脳の中にアミロイドβというタンパク質がたまり、正常な脳の神経細胞を壊して脳を委縮させる病気です。脳の萎縮は徐々に進行し、短期記憶を司る海馬に起こると、記憶障害を起こしてしまい、新しいことが覚えられなくなります。また、見当識障害といわれる月日や時間、季節の感覚が薄れてきたりします。



## 認知症に対するVSRAD等MRI検査の有用性

- 临床上（症状、各種テスト）で認知症を疑う場合に、MRI検査の所見を確認することにより、積極的な早期治療に結び付けることが可能となります。
- 定期的にMRI検査でフォローアップを行うことにより、病気の進行度合いや治療効果などを確認することが出来ます。

## どんな検査？



- MRI検査の一つで、MRI検査同様に大きな音がしますが、痛みなどはありません。ただし、MRI検査を受けることが出来ない人（心臓ペースメーカー埋め込み後や、閉所恐怖症の方など）は検査が出来ません。
- 検査は通常のMRI検査にVSRAD用に約5分追加した撮影になります。当院の場合、脳の通常MRI検査と合わせて約20分位です。
- VSRADを行っても通常のMRI検査と同じ料金（追加料金不要）です。

物忘れが気になる方で50歳以上の方が対象になります。

検査ご希望の患者様は、担当医へ  
ご相談ください。